

世界遺産富士山を望む



中野市公民館報

2015
No.118
(通巻 No.650)

1

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

忍野八海

きりえ：坂口由巳子

災害のない年であるように

豊かな水源に恵まれた天然記念物の忍野八海は、富士山の伏流水に水源を発する遊水池で、世界遺産富士山の構成資産の一部として認定されています。

新年を迎え、今年が良い年であることを願います。

昨年、長野県では、南木曾の土石流災害や御嶽山の噴火、長野県神城断層地震により、甚大な被害がありました。

今まで誇らしく歌ってきた県歌「信濃の国」も「御嶽、乗鞍、駒ヶ岳」の歌詞があることから、イベントの合唱発表で、犠牲になられた方々への配慮から自粛することもありました。

美しく豊かな自然は、時として大きな災害を引き起こします。日頃から備えをし、どう向き合っていいたらよいか考えなければなりません。

今月号の特集

第42回 中高社会
教育研究大会

あおぞら

今年も新しい年が始まりました。例年になりに豪雪により、農業施設や住宅などに被害が出ないことを願います。さて、私が毎年楽しみにしているのはスキーです。近くのスキー場に出かけ滑ることがとても楽しいのです。

昨シーズンは、野沢温泉スキー場には2回滑りに行きました。山頂から眺める風景は最高でした。シーズンの終盤頃でしたが、雪質もよく「これぞ野沢温泉」という感じでした。

9月27日には、御嶽山の噴火により、多大な被害が出て、近隣のスキー場や観光に影響が出るのではと心配です。私にできることは、些細なことですが、少しでもスキー場に足を運びスキーをすることでしようか。もちろん自己責任においてですが、これからも自然の中で思いっきり滑って行きたいと思えます。

長野県の素晴らしい景色と共に。

(春夏秋冬)

人生90年時代の私の生き方

第42回中高社会教育研究大会 開催



宮本義彦さんの多彩な人生の講演

11月30日(日) 北部公民館で中高社会教育研究大会が開催されました。公民館・社会教育関係者等50名ほどが参加しました。基調講演では、中野実業高校で長年スキーの指導をされた宮本義彦先生のお話をお聞きしました。30年間のスキー部の指導では、優勝間違いなしと言われながら優勝できなかったこと、スキー部員

から熱心に合宿の申し出があり、何度も職員会議で掛け合ったこと、今後の自分の人生を考えて取ってスキー最優先の進学をしなかった部員のことなど、心に残る思い出が数多くあり、生徒達に学ぶことも多かったといえます。退職後には豊野の公民館長を5年間務め、地元の歴史や自然に目を向けた公民館講座を数多く取り入れました。また、地元の風景を集めた「豊野百景」を発行するなどの活動が認められ長野市立豊野公民館が文部科学大臣賞を受賞しました。自らの「趣味」(ご



Cara トーンチャイムクラブ

本人は趣味の域を超えたライフワークと言っています)である登山の経験を活かし、館長を退いた現在も野外での講座を数多く開いています。公民館とは? 「人が集まるところ」「自主的に学ぶところ」「人と人が結びつくところ」「足元を向けた活動をするべきところ」。そして、活動する上で一番大切なことは、「楽しんですること」。

「人生90年時代の私の生き方」と題した講演でしたが、大自然から学び、人生の先輩から学び、人との関わりを大切にしていこうことを教えていただいたように思いました。

地域や周りの人とのつながりを持ち、長い人生を楽しんでいこう



白熱した第1分散会

ではありませんか! 講演に続き、中野市豊田地区のCara(カーラ)トーンチャイムクラブの演奏と代表の清水典子さんから「ふつうの人が地域につながるまで」、山ノ内町文化協会会長の関口佳正さんから「私のいきがい」のレポート発表があり、2つの分散会に分かれて意見交換がありました。

参加者からは、「人生90年時代における生き方、考え方に感銘を受けました」「トーンチャイムは、未経験から仲間の輪を広げながら長く続け、曲が完成した時の達成感と発表の場を大切にすることが良かったのでは」「関口さんのお話は楽しかったです。いきがいにについては同感です」などと感想がありました。



盛り上がった第2分散会

こんにちは 分館

厚貝分館活動の運営は、館長、主事、協力委員（3名）の5名の役員で活動しています。

1年間の主な事業は、1月のどんど焼き、4月の春祭り、5月は出前講座（男女共同参画）、9月の区民球技大会（ビーチバレー、マレットゴルフ）、敬老会、10月の人権教育懇談会等です。

厚貝分館

いろいろな公民館事業に多数の皆様に参加をいただき、人と人とのふれあいを通して、親睦と交流を深めることができました。



ねらいを定めて

公民館活動は、支えていただく区民のお力添いがあったからこそ実現するものがあります。



盛況だった反省会

公民館は、地域の皆様と連携し、活動して行きますが、これからも大勢の皆様のご参加をお願いいたします。
(前厚貝分館長 藤沢一美)

ふるさとの歴史

厚貝区は、長丘丘陵の東麓を走る長峰街道の小高い、起伏した場所にある戸数68戸の集落で、地形上道は曲がりくねり、石積みが至る所にある。このような条件と栗和田、赤岩両石切場が近いことから石工が何人かいた。

石工の1人、安右衛門（1831〜91）は、この両石切場のほか、松代芝石を切り出すことが多かった。地元へ運んだ石は、石造物や石積みなどに使用された。現在、厚貝の中で彼が手掛けた石垣が数か所ある。依頼され

消えゆく厚貝の歴史の道

ばどんな仕事もした。近在の小田中、古牧、大俣など筆塚、道祖神、水難供養塔、名号塔など多彩である。

孫の米蔵は、祖父の後を継いだ。芝石の運搬は陸上のみならず千曲川も利用した。壁田城山裏の舟渡し場で降ろ

し、今はない山道を人夫や馬で運び上げた。明治44年5月、石を運搬中、誤って馬を千曲川へ落とし命を絶った。供養のため造立した馬頭観世音が、今も畑の一隅にポツンと建てられている。この山中の道は、かつて厚貝の人

達にとって大切な道だったのである。厚貝が飯山領であった延宝元年（1673）から、幕府領だった弘化2年（1845）まで、鮭や小魚を捕り領主に運上（雑税）を課された道でもある。千曲川で生計を立てていた人

たちの生命線だったのである。寛保2年（1742）、戌の満水により、千曲川沿いに

あった厚貝の稼山（共同で使用する山）が崩れ落ち、そのため「：漁いっさい御座なく、運上御免下されたい」と願い出たが認められず、弘化2年、やっと厚貝の人たちの願いが叶ったのである。
(松沢 邦男)

りんごを使って 本格キムチ作り 体験

西部公民館では、11月26日（水）〜27日（木）、韓国料理研究会の皆さんを講師にキムチ作り講座を開催しました。本場韓国の食材と信州中野産のりんごを使っての実習に皆さん真剣な表情でメモをとって質問されていました。

講座終了後は、各家庭での作り方やキムチのアレンジメニューなど情報交換の場となりました。



辛さの中にりんごの香り

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/kouminkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	やしょうまづくり	2月3日(火) ※一般対象 午前10時～午後1時 2月7日(土) ※親子対象(小学生以上) 午前10時～午後1時	中央公民館 料理実習室	中野市食生活改善推進協議会のみなさん	<定員>30名 <受講料>無料 <材料費>1人200円 <持ち物>エプロン、三角巾、ふきん、タッパー <申込み>1月7日(水)から
	近代文学講座 演題「父と娘 新田次郎と藤原咲子」	2月14日(土) 午後1時30分～3時	中央公民館講堂	近代文学研究者 堀井 正子さん	<受講料>無料 <申込み>不要 ※どなたでもご参加いただけます
	中央公民館ギャラリー 信 墨 会				
北部公民館	カルチャーセミナー	○第5回 1月13日(火) 午後1時30分～3時 (内容)野田純子オリジナルライブコンサート ○第6回 1月20日(火) 午後1時30分～3時 (内容)映画鑑賞「武士の家計簿」	北部公民館	第5回 野田純子さん	<定員>40名程度 <受講料>無料 <対象>中高年世代の方 <申込受付>受付中
西部公民館	郷土料理に親しもう!	1月17日(土) 午前10時～午後0時30分	西部公民館料理教室	長野県食生活改善推進協議会顧問 原 楯 先生	<定員>20組 <受講料>無料 <材料費>1人300円 <持ち物>エプロン、三角巾
	やしょうま作り講座	2月1日(日) 午前9時30分～午後1時	西部公民館料理教室	長野県食生活改善推進協議会顧問 原 楯 先生	<定員>20組 <受講料>無料 <材料費>1人200円 <持ち物>エプロン、三角巾
豊田公民館	チャレンジ子ども教室 百人一首かるた教室 ～日本伝統の知的スポーツ～	2月7日(土)、2月14日(土) 午前10時～正午	豊田文化センター	浦野 宣夫 先生	<定員>40名程度 <受講料>無料 <対象>市内小中学生 <その他>入門編です。五色百人一首を使用します。
	高齢者学級 <健康でいつまでも> 音楽で脳がイキイキ! ～冬の歌～	2月3日(火) 午後2時～3時30分	豊田文化センター	山崎みや子先生	<定員>25名程度 <受講料>無料 <内容>歌ったり、音楽にあわせてからだを動かし、脳を活性化します。
	私の未来を輝かせる笑顔力 ～これまでの自分へのごほうび、そしてこれからの自分のために～	2月22日(日) 午後2時～3時30分	豊田文化センター	神谷 陽子 先生	<定員>30名程度 <受講料>無料 <対象>40～50代前後の女性 <内容>表情筋のストレッチ、食事の話、私の未来ワーク <持ち物>手鏡(スタンドタイプがオススメ)、筆記用具

訂正とお詫び

12月号「ふるさとの歴史」の和暦・西暦の表記について、誤りがありましたのでお詫びし、訂正いたします。

(誤)

文久2年(1682) → 文久2年(1862)
明治2年(1685) → 明治2年(1869)

(正)



長野県食の
総合アドバイザー

講師

小泉武夫先生

「真の食育とは何か」

小泉 武夫 先生 プロフィール

東京農業大学名誉教授、現在、鹿児島大学、広島大学医学部、琉球大学の客員教授。

1943年福島県の酒造家に生まれる。専門は発酵学、食文化論、農学博士。醸造学、発酵学者で「健康や老化の防止は発酵食品に宿る」と説く異色の博士。食・食文化に関する数多くの書籍を執筆し、その数は132冊を数える。また、多くの国・地方自治体の委員や理事を兼任し、各地での講演会も積極的に行っている。

平成
27年

2月8日(日) 午後1時30分
～3時

中野市中央公民館 3階講堂

●定員 300名
(当日受付順)

●入場無料

※駐車場が狭いので、車の方はなるべく相乗りでお出かけください。

主催

なかの21市民講座
運営委員会

問合せ：中野市中央公民館
中野市三好町一丁目4番27号
電話 (0269) 22-2691

「なかの21市民講座」は、21世紀のこれからをどのように生きていったら良いかを考える講座です。

近年日本人の食生活は和食型から欧米型へと大きく変化しました。そのため、生活習慣病が増え、心は情緒を失い攻撃型が多くなったと言われています。

小泉先生の幅広い知識から、「人生」や「セカンドライフ」について考える講演会を計画しました。



さんしゅゆ／一本木 (月岡尚雄)



ドングリをくわえたカケス／東山(小林 進)



遠望千曲川／柳沢(小林幸成)



草間のどんど焼き／草間 (宮澤 聡)

花と季節の写真募集

宛先

中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎ 222・2691
Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限りです。四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集!

輝いていきます

昨年の12月12日、延徳小学校4年生の授業で、小鳥の巣箱づくり体験教室を行いました。大工さんに用意していただいたパーツを金槌で釘を打ち込み組み立てる作業です。

中山晋平先生が教員時代に、新野の自宅から延徳小学校まで歩いた山道を「晋平古道」と呼びますが、その道に巣箱を掛けようとして「お話し遠足の会」(会長清水幸三氏)が呼びかけ実現しました。スズメ、セキレイ、シジュウカラ用の3種類の巣箱が出来上がりました。



▲小鳥の巣箱づくり